



Jichi 地域連携ニュース

- ・ 地域医療連携研究会の開催報告
- ・ 副病院長就任のご挨拶… 森田辰男
- ・ 診療科長就任のご挨拶… 高山達也
- ・ 就任のご挨拶…………… 森田光哉
- ・ NST研修会のご案内
- ・ 自治医科大学附属病院医師同門会について
- ・ FAXによる患者様紹介について

地域医療連携研究会の開催報告

第6回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会が開催されました ～ テーマ「地域で取り組む感染防止対策」～

平成29年5月27日（土）18時より、ホテルマイステイズ宇都宮において、「第6回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会」が開催され、県内外56の医科・歯科施設から医師・歯科医師・看護職・連携職員等、合計179名の皆さまにご参加いただきました。

佐田病院長の開催挨拶・当病院の現況報告に続き、森澤患者サポートセンター長を座長として、「地域で取り組む感染防止対策」をテーマに、次のとおり講演4題が行われました。

- I. 地域で考える感染防止対策のベストプラクティス
— 栃木地域感染制御コンソーシアム TRICK の取り組み—
JCHO うつのみや病院 医療安全管理部 看護師長 館野洋子
- II. 感染防止対策の地域教育
— 下野市教育委員会との連携による学校訪問—
上都賀総合病院 薬剤部 副薬剤部長 野澤彰
- III. 医療従事者職業感染防止のための地域ネットワーク
— HIV 曝露後予防薬を供給するための栃木県モデル—
自治医科大学附属病院 患者サポートセンター長・感染制御部長 森澤雄司
- IV. 本県における新型インフルエンザ等感染症発生時の対応について
栃木県 保健福祉部 健康増進課 副主幹 坂井喜子



佐田病院長の挨拶と報告

各講演後と全講演終了後に質疑応答が行われ、最後に森澤センター長が座長総括と閉会挨拶を行い、研究会は成功裏に終了しました。

また、研究会終了後、20時20分より開催された情報交換会には約140名が参加し、山形副病院長の挨拶、関口忠司統括管理監（那須南病院）の乾杯を皮切りに活発な情報交換・懇談が行われ、松村総合診療内科科長の閉会挨拶をもって、情報交換会も大変盛況のうちに終了しました。

なお、来年（平成30年）は、5月26日（土）に開催する予定であり、引き続き充実した研究会を実施したいと考えております。日が近づきましたら改めてご案内いたしますので、是非ご参加ください。



研究会風景



森澤患者サポートセンター長（座長）



懇親会風景

副病院長就任のご挨拶

腎泌尿器外科学講座 主任教授 森田辰男



2017年4月1日付で副病院長に就任しました森田辰男でございます。私は、1981年に筑波大学を卒業後、自治医科大学附属病院泌尿器科レジデントとして研修を開始し、現在まで36年間、自治医科大学に在籍しています。泌尿生殖器癌や排尿障害等に対する泌尿器科診療、生殖補助医療の導入、低侵襲手術として内視鏡補助下泌尿器手術やロボット支援手術（前立腺癌、腎細胞癌）の導入等に従事するとともに、大学業務として、地域臨床教育センター長、医師派遣審査会副会長、ハラスメント相談所長として、それぞれ、学外での卒前卒後教育体制の構築、関連病院への医師派遣、ハラスメントの相談等の業務を担当しています。医療を取り巻く環境は、疾病構造、医療供給体制、医療技術、専門医制度等において目まぐるしく変化しており、自治医科大学附属病院は、これらの変化に迅速に対応し適切な方向に向かうことが求められています。今回、副病院長として、病院運営に参画することになりましたので、今までの経験を活かしつつ、佐田病院長をサポートし、自治医科大学附属病院の発展に全力で取り組む所存です。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

診療科長就任のご挨拶

泌尿器科 診療科長 高山達也



2017年4月1日より泌尿器科の診療科長に就任しました高山達也です。小児泌尿器科や腎臓外科、そして医療スタッフを含むチームが一丸となり、他の領域との連携を深めつつ、地域社会に貢献できる診療体制を目指して参ります。また、大学病院の使命である診療、教育、研究が相互にインテグレートされるよう遂行すべく努力する所存です。

我が国は、超高齢社会となり、その対応においては他国の手本となるような対策を立てることが義務づけられております。そのためには、地域社会や経済、行政等、様々な分野との緊密な関係を構築することが必須です。

前立腺癌は、当初の予想より数年早く2015年には男性のがん罹患率で第1位となりました。そして、PSA検診の普及に伴い早期の段階で診断されるケースが多くなっております。早期の前立腺癌の治療は、監視療法、手術、放射線、ホルモン治療など多種多様です。この診療体系には地域との連携が必須であります。さらに排尿障害、特に夜間頻尿は転倒による骨折のリスクを2.63倍にするとの報告もあり、睡眠障害、フレイルやサルコペニアの問題も含め、今後、地域社会と連携し喫緊に取り組まなければならない重要課題です。

微力ではございますが、森田教授のご指導のもと、泌尿器科診療の発展に精一杯尽力致します。今まで以上に先生方や医療スタッフの方々のご理解とご協力が必要でございます。更なるご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

リハビリテーションセンター センター長
リハビリ科 診療科長 森田光哉



2017年4月1日付でリハビリテーションセンター長、リハビリテーション科科長に就任いたしました森田光哉です。リハビリテーションセンターの今後の運営方針等含めてご挨拶申し上げます。

私は大学卒業直後から神経内科を専門とするよう志しておりましたが、「神経内科は診断はできても治療はできない」ということをよく言われておりました。実際に神経疾患に罹患した患者さんを診療していて、後遺症を残す方、また徐々にADLが低下してくる方々を前に何か対応できないかと考え、その一つの答えとしてリハビリテーション医学も併行して研鑽を積んでまいりました。

医療はこれまで延命を目的として発展してきましたが、現代ではさらにそ

の生活の質が問われる時代になり、健康寿命が重要視されてきております。リハビリテーションが対象とする患者さんは、様々な疾病・障がいを抱えた方はもちろん、加齢に伴いADL低下をきたした方のみならずきたしうると予測される方々も含まれており、その方たちが持っている能力を最大限引き出し、さらに環境を整えて、可能な限り自立し、生きがいをもった生活を送れるよう対処、また予防に努めることがリハビリテーション科の役割と考えております。そのためには、理学・作業療法士、言語聴覚訓練士、看護師、医療ソーシャルワーカー、保健師、ケアマネージャー等々を含めた多職種連携、地域医療内での連携が必須ですが、これまで栃木県神経難病ネットワークの活動を通じて培った経験が生かされると思っております。

さらに医学教育において、学部教育はもちろんのこと、来年度に開始される専攻医教育においても、リハビリテーション科は基本19領域の一つとして、ますますその重要性が認識されてきております。リハビリテーション科専門医、指導責任者として専攻医プログラムを立案、運営するとともに、神経内科専門医・指導医として培った経験をこれからの医学生、専攻医教育に役立てたいと思っております。

最後に改めて、リハビリテーションは急性期を担う大学病院のみで完結するものではなく、地域の病院、診療所、また多くの方々の協働、協力なくしては成り立ちません。微力ではありますが、この目的に沿うよう精進していく所存でおりますので、宜しくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

NST研修会のご案内

参加無料（事前申し込み不要）

会 場 自治医科大学地域医療情報研修センター、又は自治医科大学医学部教育研究棟
内 容 NSTのための知識・技術を有する看護師・薬剤師・管理栄養士の養成を目的とした研修
問合先 臨床栄養部 NST支援室 ☎ 0285-58-7574 メール nst@jichi.ac.jp

開催月日・会場	テ ー マ	講 師
平成29年 7月 4日（火） 18：00～19：00 研修センター 中講堂	静脈栄養について 静脈栄養剤の種類と選択	感染症科 大西 翼 医師 薬剤部 釜井 聡子 薬剤師（NST専任薬剤師）
平成29年 9月12日（火） 18：00～19：00 教育研究棟 大教室3	血糖コントロールと栄養管理	内分泌代謝科 岡田 健太 医師 看護部 馬場 千恵子 看護師（糖尿病看護認定看護師・NST専任看護師）
平成29年10月 3日（火） 18：00～19：00 教育研究棟 講堂	第23回下野栄養管理研究会 「高齢者の栄養管理」	上尾中央総合病院 外科顧問 腫瘍内科顧問 大村 健二 医師

自治医科大学附属病院医師同門会について

当病院では、OB医師を中心に「自治医科大学附属病院医師同門会」を組織し、総会・懇親会の開催や会報の発行等を行っております。

入会の条件は、「①自治医科大学附属病院で、常勤の医師・歯科医師として勤務経験があること、②同会の趣旨に賛同していただくこと」の2点のみです。会費は3年間で1万円です。

これを機会に是非入会をお勧めいたしますとともに、皆様方の周囲に当病院OB医師がおられるときは、当会の存在をご案内くださいますようお願いいたします。

入会に関する連絡・照会先は次のとおりです。

自治医科大学附属病院 医師同門会事務局（地域医療連携室内）
担 当：小島 一夫、加納 秀樹
TEL 0285-58-7463 0285-58-7461
FAX 0285-44-5397
e-mail byoushin3@jichi.ac.jp

FAXによる患者様紹介について

当院では、FAXにより患者様の事前予約を行っております。事前にカルテの作成等事務手続きを済ませておくため、受診当日の患者様の待ち時間が短縮されます。是非ご利用いただきますようご案内いたします。

F A X 事前予約受付（休診日を除く）
月曜日から金曜日まで 午前9時～午後3時《厳守》

— ご注意 —

- ◆ 医療機関以外（患者様本人等）からの予約受付は行っておりません。
- ◆ 受診当日の予約、および時間予約は行っておりません。
- ◆ 予約を変更（又は取消）される場合は、事前に紹介元医療機関から地域医療連携室までご連絡ください。

< FAX予約のご利用方法 >

1. 「紹介状（診療情報提供書）」および「FAX診療予約申込書」を作成し、当院あてにFAX送信してください。FAX診療予約申込書は、当院のホームページ（<http://www.jichi.ac.jp/hospital/>）よりダウンロードできます。
2. 当院では予約をお取りし、「FAX・紹介患者のお知らせ（返信）」と「FAX診療予約申込書」を返信します。
3. 患者様に「紹介状（診療情報提供書）」と「FAXによる診療」予約票をお渡しくください。
4. 来院日には、「紹介状（診療情報提供書）」と健康保険証を持参し、医事課・FAX紹介状提示窓口に提示するようご案内をしてください。

